

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果考察【概要版】

令和5年度 全国学力・学習状況調査から確認できた成果と課題

成果について

☆授業における成果

- ◎根拠を明確にして書く力がついてきている。
- ◎基礎的な知識・技能の習得が見られる。

☆よくできていた問題

- ◎小学校 国語：目的を意識して中心となる語や文を見つけて、要約すること
算数：日常生活の場面を解釈し、少数の加法や乗法を用いて求め方を式や言葉で記述すること
- ◎中学校 国語：歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
数学：問題場面における考察の対象を明確に捉えること
英語：疑問詞を用いた一般動詞の二人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと

課題について

★全体について

- 目的に応じて、自分の考えをまとめ表現すること
- 教科横断的な視点で学習を成り立たせていく授業づくり

★各教科について

- 小学校 国語：図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
算数：高さが等しい三角形の底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し理由を記述すること
- 中学校 国語：文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを書くこと
数学：データの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
英語：文と文の関係を正確に読み取ること

課題解決に向けた今後の市としての取組み

☆目的に応じて、自分の考えをまとめ表現する

- ① すべての教科で文章を書く取組みを実施
- ② 資料から必要な情報を選び、書き表し方を工夫する場面の設定
- ③ 自分の持っている知識や経験と結び付けることで、考えを広げたり深めたりする学習活動の設定

☆教科横断的な視点で学習を成り立たせていく授業づくり

- ① 課題解決に向けて、自分で考え主体的に取り組み始める授業の実践
- ② 生活と結び付けて考えたり、活用できる場面の設定
- ③ 学ぶ価値が実感できる場面の設定

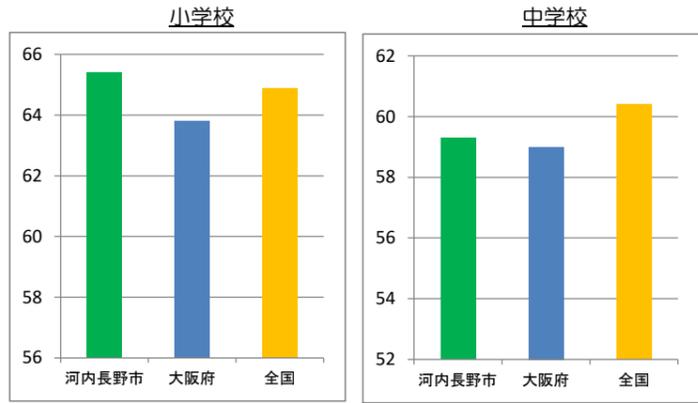
☆ICT機器を活用した学習活動の充実

- ① ロイロノートで他者の意見と比較したり、様々な考えを交流し自分の考えを再構築したりする場面の設定
- ② シンキングツールを用いて考えを整理し、構成を意識し、表現を工夫する場面の設定

☆学校全体で組織的に取り組む授業改善

- ① 学力向上に関する研究授業の実施
- ② 目の前の児童生徒の課題に正対した取組み
- ③ 教育活動全体で言語活動の充実

令和5年度全国学力・学習状況調査 平均正答率



小学校正答率	河内長野	対府差	対国差	府公立	全国公立
国語	66.4	0.7	-0.8	65.7	67.2
算数	64.4	2.6	1.9	61.8	62.5
平均正答率	65.4	1.7	0.6	63.8	64.9

中学校正答率	河内長野	対府差	対国差	府公立	全国公立
国語	69.3	1.3	-0.5	68.0	69.8
数学	49.3	-0.7	-1.7	50.0	51.0
英語	47.3	2	1.7	45.3	45.6
平均正答率	59.3	0.3	-1.1	59.0	60.4

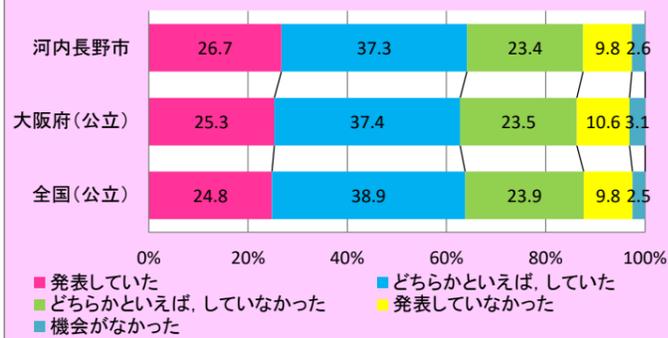
※中学校平均正答率は英語を除いた数値

＜学校での授業についての児童・生徒質問事項＞

(小学校)5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

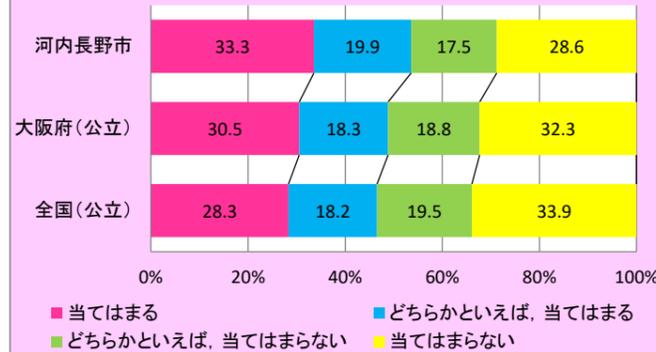


(小学校)5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



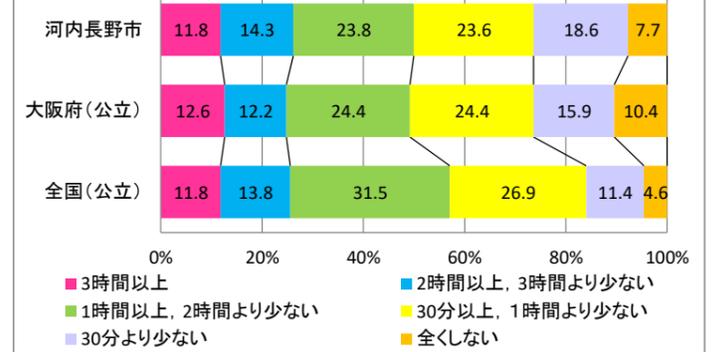
＜英語に関する児童・生徒質問事項＞

(小学校)これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。



＜家庭学習習慣に関する児童・生徒質問事項＞

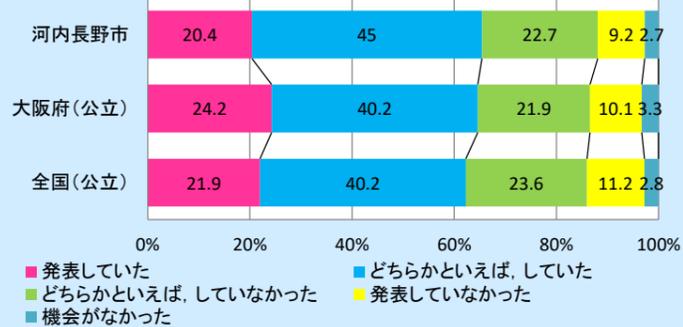
(小学校)普段、学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



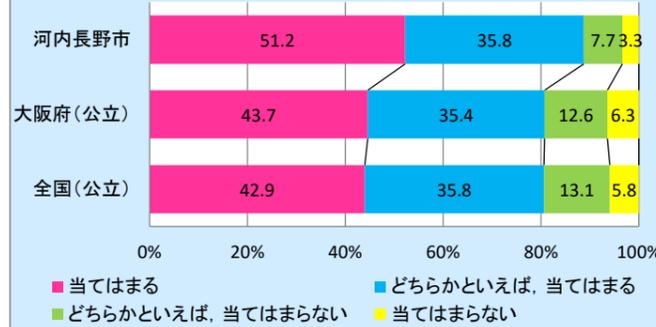
(中学校)1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか



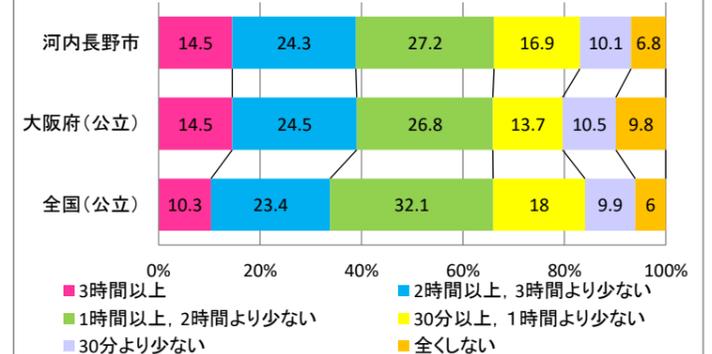
(中学校)1,2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



(中学校)1,2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われてきましたか。



(中学校)普段、学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



小学校・中学校ともに、国同様に1人1台学習者用端末などを積極的に活用した授業が進められていることがうかがえる。現在、思考力・判断力・表現力の育成をより一層進めるために、「思考スキル(シンキングツール)」を活用した授業改善に取り組んでいる。

本市課題「目的に応じて、自分の考えをまとめ表現すること」に関する項目では、肯定的回答が小学校・中学校ともに国・府とほぼ同様であった。各校においては、全教科で教科横断的な視点に立った本市課題に正対した授業づくりを進めていく必要がある。

小学生の内に学校の授業以外でも英語を使う機会を増やすことで、コミュニケーション能力育成の素地を養うことにつながると考えられる。中学校では、コミュニケーション能力育成のために様々な方法で発表する活動を取り入れた授業づくりが行われている。

小学校において、1日に1時間以上学校以外で勉強している割合が全国に比べて低く、30分より少ない勉強時間の割合が高い。中学生は、3時間以上の割合が高く、1日に1時間以上学校外で勉強している生徒は全国とほぼ同じ割合が見られる。